

静岡県 の 財政状況

平成29年10月

静岡県

富国有徳の理想郷

しずおか



目 次

		[説明資料関連ページ]	
＜“ふじのくに”の概況＞	静岡県の人口・経済及び産業の状況	1	(5)
	静岡県に関する各種指標統計	2	(5)
＜県政ビジョン＞	平成28年度富士山静岡空港 就航先・搭乗率の状況	3	(16)
＜静岡県の財政状況＞	平成28年度一般会計 歳入決算の状況	4	
	平成29年度一般会計 歳入予算の状況	5	
	一般会計 歳入決算の推移	6	
	一般会計 歳入(県税)決算の推移	7	(22)
	平成28年度一般会計 歳出(分析別)決算の状況	8	(23)
	平成28年度一般会計 歳出(款別)決算の状況	9	
	平成29年度一般会計 歳出(分析別)予算の状況	10	(23)
	平成29年度一般会計 歳出(款別)予算の状況	11	
	一般会計 歳出決算の推移	12	(23)
	(参考)一般会計 歳出予算(最終)の推移	13	
	平成28年度 特別会計決算の状況	14	
	平成28年度 公営事業会計決算の状況(収益的収支)	15	(25)
	平成28年度 公営事業会計決算の状況(資本的収支)	16	(25)
	地方公社の改革計画への取組	17	
	地方公社の決算状況	18	
	静岡県の外郭団体の経営状況	19-20	(26)
財政の中期試算	21-28		
財政関係指標の推移(普通会計)	29-31	(24)	
平成27年度 静岡県の財務諸表	32-37		
県債残高の推移(一般会計、特別会計及び企業会計)	38	(29)	
＜静岡県の起債運営＞	財政課所管基金の年度末残高の推移	39	
	減債基金への積立ての状況	40	(29)
	プライマリーバランスの推移	41	(27)
	静岡県公募公債の発行状況	42	(30)

静岡県の人口・経済及び産業の状況

○静岡県の人口及び全国順位の推移

(単位：千人、%)

項目	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
静岡県人口数(A)	3,795	3,796	3,793	3,783	3,765	3,749	3,735	3,723	3,705	3,701	3,688
全国順位	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
全国人口(B)	127,900	128,033	128,084	128,032	128,056	127,799	127,515	127,298	127,083	127,110	126,933
本県シェア(A/B)	2.97	2.96	2.96	2.95	2.94	2.93	2.93	2.92	2.92	2.91	2.91

※各年度10月1日現在の推計人口(総務省統計局データ)による(平成17、22年度は国勢調査数値、27年度は国勢調査速報値)。

○静岡県の県内総生産及び一人当たり県民所得の推移

項目	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
県内総生産(百万円)	17,272,269	17,269,495	16,457,059	15,077,796	15,518,685	15,563,349	15,485,316	15,876,309	15,442,514	15,558,670	15,455,898
全国順位	10	10	10	10	10	10	10	10	10	(速報)	(速報)
一人当たり県民所得(千円)	3,522	3,521	3,278	2,976	3,149	3,199	3,195	3,326	3,220	3,288	3,278
全国順位	3	3	2	4	3	3	3	3	3	(速報)	(速報)

※各年度の数値は「県民経済計算について(内閣府 経済社会総合研究所)」による。

○静岡県の製造品出荷額の推移

(単位：億円、%)

項目	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
静岡県製造品出荷額	182,347	194,103	191,777	150,510	157,931	143,915	157,077	156,991	160,507	164,125	-
全国順位	3	3	3	2	3	4	4	4	4	4	-
全国製造品出荷額	3,146,194	3,367,566	3,355,788	2,652,590	2,891,077	2,765,616	2,887,276	2,920,921	3,051,400	3,139,360	-
本県シェア	5.8	5.8	5.7	5.7	5.5	5.2	5.4	5.4	5.3	5.2	-

※各年度の数値は経済産業省公表の「工業統計表産業編(概要版)」による。

- 1 -

静岡県に関する各種指標統計

区分	項目	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
県勢基本	静岡県人口数(千人)	3,735	3,723	3,705	3,701	3,688
	全国順位	10	10	10	10	10
	合計特殊出生率(人/千人当たり)	1.52	1.53	1.50	1.54	-
	全国順位	15	15	18	21	-
経済産業	県内総生産(億円)	155,009	158,763	154,425	155,587	154,559
	全国順位	10	10	10	(速報値)	(速報値)
	製造品出荷額等(億円)	157,077	156,991	160,507	164,125	-
	全国順位	4	4	4	4	-
	実質経済成長率(%)	-0.8	2.2	-3.0	-1.0	-
	全国数値(%)	0.9	2.6	-1.0	(速報)	-
	医薬品生産額(億円)	6,462	6,208	4,835	4,551	-
	全国順位	2	2	4	5	-
	医療機器生産額(億円)	3,652	3,739	3,865	3,700	-
	全国順位	1	1	1	1	-
	化粧品生産額(億円)	1,738	1,858	3,147	4,045	-
	全国順位	3	2	1	1	-
	農業産出額(億円)	2,114	2,138	2,154	2,204	-
	全国順位	16	16	15	15	-
海面漁業・養殖業生産額(億円)	588	516	532	582	(速報値)	
全国順位	5	6	6	6	-	
行政	ホテル・旅館数	3,464	3,344	3,233	3,146	-
	全国順位	1	1	1	1	-

区分	項目	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
経済産業	企業立地件数	65	50	53	55	74
	全国順位	1	3	3	4	1
	有効求人倍率	0.79	0.90	1.10	1.21	1.39
	全国数値	0.82	0.97	1.11	1.23	1.39
	完全失業率(%)	3.4	3.2	2.8	2.7	2.5
全国数値	4.3	4.0	3.6	3.4	3.1	
教育	大学・短大学生数(人)	38,053	38,254	38,162	38,229	38,393
	全国順位	16	16	16	15	15
	大学・短大等進学率(%)	53.2	53.0	53.1	53.9	53.1
	全国順位	17	15	17	17	17
くらし環境	図書館数	96	96	97	97	98
	全国順位	-	-	-	-	-
健康福祉	エコアクション21認証登録事業者数(件)	944	976	935	960	973 (H29.2末現在)
	全国順位	1	1	1	1	1
	国民医療費(千円/1人当たり)	275	283	290	301	-
	全国順位(昇順)	8	8	8	8	-
行政	1日平均在院・外来患者数(人/10万人当たり)	1,652	1,464	1,461	1,451	-
	全国順位(昇順)	3	3	3	4	-
	生活保護率(%)	5.9	6.2	6.4	6.5	-
全国順位(昇順)	9	9	9	9	-	
行政	市町村への事務移譲実施数	120	124	126	128	125
	全国順位	1	1	1	1	1

- 2 -

平成28年度 富士山静岡空港 就航先・搭乗率の状況

路線		提供座席数(席)	搭乗者数(人)	搭乗率(%)	
国内線	新千歳線	FDA	143,670	78,274	54.5
		ANA	25,012	18,603	74.4
			118,658	59,671	50.3
	丘珠線	FDA	8,136	5,530	68.0
	福岡線	FDA	236,844	138,601	58.5
	鹿児島線	FDA	60,396	38,638	64.0
	沖縄線	ANA	119,654	69,928	58.4
		チャーター便	5,368	3,931	73.2
	国内線計	574,068	334,902	58.3	
国際線	ソウル線		75,568	52,421	69.4
		アジアナ航空(H28.10まで)	27,598	19,706	71.4
		エアソウル(H28.10から)	47,970	32,715	68.2
	上海線・武漢線	中国東方航空	108,963	56,894	52.2
	天津線	天津航空	4,680	3,160	67.5
	寧波線	中国東方航空	32,760	24,214	73.9
	温州線	中国東方航空	9,048	5,107	56.4
	杭州線		61,464	43,975	71.5
		北京首都航空	36,192	26,927	74.4
		中国東方航空	25,272	17,048	67.5
	南京線	中国東方航空	24,648	14,588	59.2
	済南線	北京首都航空	15,312	11,611	75.8
	瀋陽線	北京首都航空	12,528	10,519	84.0
	大連線	天津航空	5,040	3,404	67.5
	台北線	チャイナエアライン	64,792	47,804	73.8
		チャーター便	2,889	2,762	95.6
		国際線計	417,692	276,459	66.2
	合計	991,760	611,361	61.6	

※欠航便、ダイバート便(他空港への降客)、引き返し便を除く

■ 年度別搭乗者数

(単位:千人)

区分	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
国内線	352	316	266	251	293	305	309	335
国際線	178	239	146	196	166	244	390	276
合計	528	555	412	447	459	549	699	611

平成28年度一般会計 歳入決算の状況

(単位:百万円・%)

区分	平成28年度 決算	平成27年度 決算	比較	伸率	構成比	
					平成28年度	平成27年度
歳入決算額	1,215,978	1,227,284	△ 11,306	△ 0.9	100.0	100.0
県税	490,331	488,268	2,063	0.4	40.3	39.8
地方消費税清算金	134,051	149,570	△ 15,519	△ 10.4	11.0	12.2
地方譲与税	55,345	65,834	△ 10,489	△ 15.9	4.6	5.4
地方特例交付金	1,721	1,650	71	4.3	0.1	0.1
地方交付税	159,423	151,525	7,898	5.2	13.1	12.4
交通安全対策特別交付金	1,228	1,260	△ 32	△ 2.5	0.1	0.1
分担金及び負担金	3,610	2,936	674	23.0	0.3	0.2
使用料及び手数料	16,973	14,632	2,341	16.0	1.4	1.2
国庫支出金	126,002	127,041	△ 1,039	△ 0.8	10.4	10.4
財産収入	1,969	3,095	△ 1,126	△ 36.4	0.2	0.3
寄附金	170	107	63	58.9	0.0	0.0
繰入金	41,937	33,842	8,095	23.9	3.5	2.7
繰越金	13,695	16,660	△ 2,965	△ 17.8	1.1	1.4
諸収入	22,333	25,242	△ 2,909	△ 11.5	1.8	2.0
県債	147,190	145,622	1,568	1.1	12.1	11.8

平成29年度一般会計 歳入予算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	平成29年度 当初予算	平成28年度 当初予算	比 較	伸 率	構 成 比		
					平成29年度	平成28年度	
歳 出 規 模	1,205,800	1,240,928	△ 35,128	△ 2.8	100.0	100.0	
一 般 財 源 等	県税	482,000	496,000	△ 14,000	△ 2.8	40.0	40.0
	地方消費税清算金	137,067	136,855	212	0.2	11.4	11.0
	地方譲与税	61,000	59,000	2,000	3.4	5.1	4.8
	地方特例交付金	1,854	1,711	143	8.4	0.1	0.1
	地方交付税	137,500	152,500	△ 15,000	△ 9.8	11.4	12.3
	臨時財政対策債	78,000	80,000	△ 2,000	△ 2.5	6.5	6.4
	その他	22,536	27,812	△ 5,276	△ 19.0	1.8	2.3
	計	919,957	953,878	△ 33,921	△ 3.6	76.3	76.9
特 定 財 源	国庫支出金	118,405	136,143	△ 17,738	△ 13.0	9.8	11.0
	県債	69,394	64,880	4,514	7.0	5.7	5.2
	繰入金	65,788	54,452	11,336	20.8	5.5	4.4
	その他	32,256	31,575	681	2.2	2.7	2.5
	計	285,843	287,050	△ 1,207	△ 0.4	23.7	23.1

- 5 -

一般会計 歳入決算の推移

(単位:億円・%)

区 分	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度
県税	4,254	4,377	4,565	4,882	5,669	5,412	4,178	4,017	3,979	4,063	4,232	4,478	4,883	4,903	4,820
構成比	35.9	37.5	40.3	43.0	49.6	47.3	34.4	34.4	34.6	35.2	35.9	37.4	39.8	40.3	40.0
地方交付税	1,918	1,652	1,691	1,442	1,280	1,161	1,484	1,683	1,640	1,647	1,555	1,556	1,515	1,594	1,375
構成比	16.2	14.1	14.9	12.7	11.2	10.1	12.2	14.4	14.3	14.3	13.2	13.0	12.4	13.1	11.4
国庫支出金	1,901	1,805	1,543	1,274	1,177	1,301	2,020	1,493	1,365	1,311	1,455	1,289	1,270	1,260	1,184
構成比	16.0	15.5	13.6	11.2	10.3	11.4	16.6	12.8	11.9	11.4	12.3	10.8	10.4	10.4	9.8
県債	1,862	1,676	1,348	1,254	1,425	1,837	2,340	2,197	1,952	2,051	1,989	1,859	1,456	1,472	1,474
通常債	1,125	1,150	945	890	1,096	1,437	1,506	657	716	781	692	619	580	656	602
特例債	737	526	403	364	329	400	809	1,518	1,221	1,259	1,284	1,211	838	750	780
病院債	—	—	—	—	—	—	25	22	15	11	13	29	38	66	92
構成比	15.7	14.4	11.9	11.1	12.5	16.1	19.3	18.8	17.0	17.8	16.8	15.5	11.8	12.1	12.2
その他	1,921	2,162	2,179	2,490	1,877	1,724	2,124	2,295	2,562	2,456	2,573	2,785	3,149	2,931	3,205
構成比	16.2	18.5	19.3	22.0	16.4	15.1	17.5	19.6	22.2	21.3	21.8	23.3	25.6	24.1	26.6
計	11,856	11,672	11,326	11,342	11,428	11,435	12,146	11,685	11,498	11,528	11,804	11,967	12,273	12,160	12,058

※平成29年度は当初予算

※県債のうち「特例債」は、臨時財政対策債、NTT無利子貸付金

- 6 -

一般会計 歳入(県税)決算の推移

(単位:億円・%)

区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
個人県民税	673	677	724	812	1,460	1,510	1,492	1,344	1,324	1,371	1,468	1,484	1,494	1,451	1,460
構成比	15.8	15.5	15.9	16.6	25.8	27.9	35.7	33.5	33.3	33.7	34.7	33.1	30.6	29.6	30.3
法人二税	1,534	1,620	1,818	2,046	2,184	1,988	885	893	913	953	1,049	1,257	1,280	1,371	1,283
構成比	36.1	37.0	39.8	41.9	38.5	36.7	21.2	22.2	22.9	23.5	24.8	28.1	26.2	28.0	26.6
その他	2,047	2,080	2,023	2,024	2,025	1,914	1,801	1,780	1,742	1,739	1,715	1,737	2,109	2,081	2,077
構成比	48.1	47.5	44.3	41.5	35.7	35.4	43.1	44.3	43.8	42.8	40.5	38.8	43.2	42.4	43.1
計	4,254	4,377	4,565	4,882	5,669	5,412	4,178	4,017	3,979	4,063	4,232	4,478	4,883	4,903	4,820

(参考)

地方法人特別譲与税	-	-	-	-	-	-	195	431	463	478	579	698	630	527	584
合計	4,254	4,377	4,565	4,882	5,669	5,412	4,373	4,448	4,442	4,541	4,811	5,176	5,513	5,430	5,404

※平成29年度は当初予算

- 7 -

平成28年度一般会計 歳出(分析別)決算の状況

(単位:百万円・%)

区分	平成28年度決算	平成27年度決算	比較	伸率	構成比		
					平成28年度	平成27年度	
歳出決算額	1,201,907	1,213,589	△ 11,682	△ 1.0	100.0	100.0	
義務的経費	人件費	363,278	363,139	139	0.0	30.2	29.9
	扶助費	104,963	100,291	4,672	4.7	8.7	8.3
	公債費	184,778	181,207	3,571	2.0	15.4	14.9
	災害復旧費	1,752	3,186	△ 1,434	△ 45.0	0.2	0.2
	計	654,771	647,823	6,948	1.1	54.5	53.3
義務的経費以外	投資的経費	156,990	157,181	△ 191	△ 0.1	13.1	13.0
	公共・直轄	84,012	82,506	1,506	1.8	7.0	6.8
	単独等	72,978	74,675	△ 1,697	△ 2.3	6.1	6.2
	その他の経費	390,146	408,585	△ 18,439	△ 4.5	32.4	33.7
	計	547,136	565,766	△ 18,630	△ 3.3	45.5	46.7

- 8 -

平成28年度一般会計 歳出(款別)決算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	平成28年度 決算	平成27年度 決算	比 較	伸 率	構 成 比	
					平成28年度	平成27年度
議会費	1,925	1,907	18	0.9	0.1	0.2
経営管理費	32,274	32,289	△ 15	0.0	2.7	2.7
企画広報費	11,031	8,961	2,070	23.1	0.9	0.7
くらし・環境費	8,055	7,118	937	13.2	0.7	0.6
文化・観光費	11,608	9,182	2,426	26.4	1.0	0.8
健康福祉費	222,080	223,044	△ 964	△ 0.4	18.5	18.4
経済産業費	41,398	37,805	3,593	9.5	3.4	3.1
交通基盤費	122,903	132,641	△ 9,738	△ 7.3	10.2	10.9
危機管理費	5,830	7,770	△ 1,940	△ 25.0	0.5	0.6
警察費	77,238	77,036	202	0.3	6.4	6.3
教育費	305,298	300,159	5,139	1.7	25.4	24.7
災害対策費	2,000	3,291	△ 1,291	△ 39.2	0.2	0.3
公債費	184,778	181,207	3,571	2.0	15.4	14.9
諸支出金	175,489	191,179	△ 15,690	△ 8.2	14.6	15.8
計	1,201,907	1,213,589	△ 11,682	△ 1.0	100.0	100.0

- 9 -

平成29年度一般会計 歳出(分析別)予算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	平成29年度 当初予算	平成28年度 当初予算	比 較	伸 率	構 成 比		
					平成29年度	平成28年度	
歳 出 総 額	1,205,800 (1,241,628)	1,240,928 (1,240,928)	△ 35,128 (700)	△ 2.8 (0.1)	100.0 -	100.0 -	
義務的経費	人件費	302,130 (366,498)	361,400 (361,400)	△ 59,270 (5,098)	△ 16.4 (1.4)	25.0 -	29.1 -
	扶助費	108,570	103,995	4,575	4.4	9.0	8.4
	公債費	187,146	185,487	1,659	0.9	15.5	14.9
	災害復旧費	8,007	8,532	△ 525	△ 6.2	0.7	0.7
	計	605,853 (670,221)	659,414 (659,414)	△ 53,561 (10,807)	△ 8.1 (1.6)	50.2 -	53.1 -
税金関連法定経費	211,135 (182,595)	183,884 (183,884)	27,251 (△ 1,289)	14.8 (△ 0.7)	17.5 -	14.8 -	
義務的法定経費・ 税外関連	投資的経費	169,269	169,833	△ 564	△ 0.3	14.1	13.7
	うち 公共・直轄	86,525	89,988	△ 3,463	△ 3.8	7.2	7.2
	うち 単独	81,343	79,054	2,289	2.9	6.7	6.4
	その他の経費	219,543	227,797	△ 8,254	△ 3.6	18.2	18.4
	計	388,812	397,630	△ 8,818	△ 2.2	32.3	32.1

※()内は政令市への移譲影響を除く額

- 10 -

平成29年度一般会計 歳出(款別)予算の状況

(単位:百万円・%)

区 分	平成29年度 当初予算	平成28年度 当初予算	比 較	伸 率	構 成 比	
					平成29年度	平成28年度
議会費	2,014	2,010	4	0.2	0.2	0.2
危機管理費	7,101	6,334	767	12.1	0.6	0.5
経営管理費	35,751	29,495	6,256	21.2	3.0	2.4
くらし・環境費	10,434	8,746	1,688	19.3	0.9	0.7
文化・観光費	15,675	13,051	2,624	20.1	1.3	1.1
健康福祉費	237,251	234,820	2,431	1.0	19.7	18.9
経済産業費	48,736	47,294	1,442	3.0	4.0	3.8
交通基盤費	123,442	126,252	△ 2,810	△ 2.2	10.2	10.2
警察費	78,095	78,354	△ 259	△ 0.3	6.5	6.3
教育費	243,592	305,799	△ 62,207	△ 20.3	20.2	24.6
災害対策費	8,120	8,657	△ 537	△ 6.2	0.7	0.7
公債費	187,146	185,487	1,659	0.9	15.5	15.0
諸支出金	208,143	181,602	26,541	14.6	17.2	14.6
予備費	300	1,300	△ 1,000	△ 76.9	0.0	0.1
政策企画費	—	11,727	△ 11,727	皆減	—	0.9
計	1,205,800	1,240,928	△ 35,128	△ 2.8	100.0	100.0

- 11 -

一般会計 歳出決算の推移

(単位:億円・%)

区 分	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度
義務的経費	6,258	6,293	6,205	6,165	6,216	6,191	6,177	6,227	6,299	6,325	6,264	6,353	6,478	6,548	6,059
構成比	53.5	54.5	55.3	54.9	54.9	54.6	51.3	54.0	55.5	55.7	54.1	53.8	53.3	54.5	50.2
人件費	3,903	3,900	3,907	3,923	3,932	3,863	3,765	3,729	3,718	3,683	3,561	3,585	3,631	3,633	3,021
構成比	33.4	33.8	34.9	34.9	34.8	34.0	31.3	32.3	32.8	32.4	30.8	30.4	29.9	30.2	25.0
扶助費	537	568	564	626	659	686	724	774	810	851	888	929	1,003	1,050	1,086
構成比	4.6	4.9	5.0	5.6	5.8	6.1	6.0	6.7	7.1	7.5	7.7	7.9	8.3	8.7	9.0
公債費	1,727	1,735	1,651	1,579	1,588	1,608	1,678	1,697	1,715	1,714	1,776	1,799	1,812	1,848	1,872
構成比	14.7	15.0	14.7	14.1	14.0	14.2	13.9	14.7	15.1	15.1	15.3	15.2	14.9	15.4	15.5
災害復旧費	91	90	83	37	37	34	10	27	56	77	39	40	32	17	80
構成比	0.8	0.8	0.7	0.3	0.3	0.3	0.1	0.2	0.5	0.7	0.3	0.3	0.2	0.2	0.7
投資的経費	2,771	2,577	2,278	2,186	2,106	2,025	1,921	1,734	1,628	1,688	1,912	1,705	1,572	1,570	1,693
構成比	23.7	22.3	20.3	19.5	18.6	17.9	16.0	15.1	14.3	14.9	16.5	14.5	13.0	13.1	14.1
公共・直轄	1,495	1,373	1,195	1,114	1,006	897	892	920	903	935	1,024	879	825	840	865
構成比	12.8	11.9	10.7	9.9	8.9	7.9	7.4	8.0	8.0	8.3	8.9	7.5	6.8	7.0	7.2
単独等	1,276	1,204	1,083	1,072	1,100	1,128	1,029	814	725	753	887	826	747	730	828
構成比	10.9	10.4	9.6	9.6	9.7	10.0	8.6	7.1	6.4	6.6	7.7	7.0	6.2	6.1	6.9
その他	2,664	2,683	2,729	2,870	3,002	3,124	3,942	3,580	3,422	3,347	3,398	3,743	4,086	3,901	4,306
構成比	22.8	23.2	24.4	25.6	26.5	27.5	32.7	31.0	30.2	29.4	29.4	31.7	33.7	32.4	35.7
計	11,693	11,553	11,212	11,221	11,324	11,340	12,040	11,541	11,349	11,360	11,574	11,801	12,136	12,019	12,058
形式収支 (歳入 - 歳出)	163	119	114	121	104	95	106	144	148	168	230	167	137	141	—
実質収支	60	62	57	59	61	57	57	58	56	60	112 (62)	58	57	55	—

※平成29年度は当初予算

※各年度の決算は、前年度からの繰越を含み、翌年度への繰越を含まない。

※実質収支は、形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた額

※平成25年度の実質収支の()書きは、平成26年度予算に計上している寄附金のうち、平成25年度に受け入れた50億円を除いた額

- 12 -

(参考)一般会計 歳出予算(最終)の推移

(単位:億円・%)

区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
義務的経費	6,275	6,338	6,202	6,169	6,259	6,194	6,205	6,261	6,351	6,345	6,285	6,389	6,476	6,562	6,058
構成比	53.7	54.5	55.1	54.6	54.9	54.1	50.3	53.9	55.2	54.2	54.5	53.4	53.3	53.5	50.2
人件費	3,914	3,908	3,914	3,936	3,951	3,881	3,778	3,749	3,734	3,722	3,575	3,604	3,643	3,645	3,021
構成比	33.5	33.6	34.7	34.9	34.7	33.9	30.7	32.3	32.4	31.8	31.0	30.1	30.0	29.7	25.0
扶助費	541	573	570	637	664	689	730	776	813	854	892	935	1,007	1,054	1,086
構成比	4.6	4.9	5.1	5.6	5.8	6.0	5.9	6.7	7.1	7.3	7.7	7.8	8.3	8.6	9.0
公債費	1,732	1,744	1,654	1,581	1,588	1,609	1,680	1,698	1,716	1,714	1,776	1,800	1,812	1,848	1,871
構成比	14.8	15.0	14.7	14.0	13.9	14.1	13.6	14.6	14.9	14.6	15.4	15.1	14.9	15.1	15.5
災害復旧費	88	113	64	15	56	15	17	38	88	55	42	50	14	15	80
構成比	0.8	1.0	0.6	0.1	0.5	0.1	0.1	0.3	0.8	0.5	0.4	0.4	0.1	0.1	0.7
税収関連法定経費	1,036	1,147	1,129	1,174	1,272	1,186	1,166	1,139	1,135	1,112	1,155	1,284	1,932	1,786	2,111
構成比	8.9	9.9	10.0	10.4	11.1	10.4	9.5	9.8	9.8	9.5	10.0	10.8	15.9	14.6	17.5
投資的経費	2,700	2,546	2,286	2,220	2,112	2,072	2,078	1,713	1,684	1,966	1,791	1,703	1,541	1,740	1,693
構成比	23.1	21.9	20.3	19.6	18.5	18.1	16.9	14.8	14.6	16.8	15.5	14.2	12.7	14.2	14.1
公共・直轄	1,419	1,336	1,197	1,122	992	907	987	983	941	1,196	886	866	800	968	865
構成比	12.1	11.5	10.6	9.9	8.7	7.9	8.0	8.5	8.2	10.2	7.7	7.2	6.6	7.9	7.2
単独等	1,281	1,210	1,089	1,098	1,120	1,165	1,091	730	743	770	905	837	741	772	828
構成比	11.0	10.4	9.7	9.7	9.8	10.2	8.9	6.3	6.4	6.6	7.8	7.0	6.1	6.3	6.9
その他	1,666	1,590	1,639	1,738	1,767	1,990	2,873	2,502	2,353	2,289	2,313	2,582	2,202	2,171	2,196
構成比	14.3	13.7	14.6	15.4	15.5	17.4	23.3	21.5	20.4	19.5	20.0	21.6	18.1	17.7	18.2
計	11,677	11,621	11,256	11,301	11,410	11,442	12,322	11,615	11,523	11,712	11,544	11,958	12,151	12,259	12,058

※平成29年度は当初予算

平成28年度 特別会計決算の状況

(単位:百万円)

区分	会計の概要	歳入(A)	歳出(B)	差引(A)-(B)	差引の理由
公債管理	県債の償還金・利子の支払、県債管理基金への積立	409,204	409,204	0	—
自動車税等証紙徴収事務	自動車税及び自動車取得税の証紙徴収分の一般会計への振替	3,753	3,753	0	—
市町振興助成事業	市町が実施する地震防災対策事業などに必要な資金の貸付	1,343	1,343	0	—
県営住宅事業	県営住宅の管理、修繕等	10,300	10,141	159	県営住宅の建替・修繕工事等における執行残及び翌年度繰越による
母子父子寡婦福祉資金	母子家庭等を対象とした生活資金、修学資金等の貸付	673	629	44	資金の借入需要が見込を下回ったことによる
心身障害者扶養共済事業	心身障害者への年金の支給	652	652	0	—
林業改善資金	林業及び木材産業の生産の高度化等を図るための資金の貸付	275	0	275	資金の借入需要が見込を下回ったことによる
沿岸漁業改善資金	沿岸漁業の振興を図るための資金の貸付	214	2	212	資金の借入需要が見込を下回ったことによる
中小企業高度化資金貸付事業等	中小企業の創業や経営基盤強化を支援するための資金の貸付	7,764	7,175	589	高度化資金・設備資金貸付事務費等における執行残及び翌年度繰越による
清水港等港湾整備事業	清水港などの荷役機械・上屋の整備、維持管理	6,585	6,464	121	清水港施設整備費等における執行残及び翌年度繰越による
流域下水道事業	流域下水道の整備、維持管理	5,383	5,291	92	翌年度繰越による
物品調達事務等	本庁、出先における物品調達事務等	1,812	1,812	0	—
計		447,958	446,466	1,492	

平成28年度 公営事業会計決算の状況(収益的収支)

(単位:百万円)

区分	事業の概要	収益的収支(損益勘定)			内部留保資金
		収入	支出	収支差引	
工業用水道事業	県下10市町の346事業所に工業用水を供給するため、柿田川、富士川、東駿河湾、静清、中遠、西遠、湖西の7事業を実施	4,683	4,263	420	6,687
水道事業	県下10市町に長期的に安定した良質の生活用水を供給するため、駿豆・榛南・遠州の3事業を実施	6,983	5,795	1,188	7,027
地域振興整備事業	工場の再編整備、集団化や優良企業の誘致など地域発展のための工業用地の造成事業を市町の土地利用計画と整合を図りながら実施	116	65	51	4,058
静岡がんセンター事業	本県がん対策の中核を担う高度がん専門医療機関として病院、疾病管理センター、研究所を運営	33,135	33,152	△ 17	9,805
	計	44,917	43,275	1,642	27,577

- 15 -

平成28年度 公営事業会計決算の状況(資本的収支)

(単位:百万円)

区分	事業の概要	資本的収支(資本勘定)				収支差引
		収入	支出		収支差引	
			企業債	企業債償還金		
工業用水道事業	県下6工業用水道事業で、送水管布設替工事等を実施(富士川、静清、中遠等)	706	607	2,287	1,067	△ 1,581
水道事業	県下3水道事業で送水管布設替工事等を実施(榛南、遠州等)	127	37	2,223	1,331	△ 2,096
地域振興整備事業	富士山麓フロンティアパーク 小山の造成工事等を実施	712	0	1,587	0	△ 875
静岡がんセンター事業	器械備品購入ほか	2,006	1,686	5,446	3,313	△ 3,440
	計	3,551	2,330	11,543	5,711	△ 7,992

- 16 -

地方公社の改革計画への取組

団体名	これまでの成果（～H28）	行財政改革大綱（平成26年3月策定）
静岡県 土地開発 公社	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 事業規模に見合った定員管理に努めており、平成17年度から28年度までに職員12人を削減して11人体制とし、退職者分は嘱託員で対応 ◎ 平成24年度に策定した会社の目指すべき方向性を示した「将来ビジョン」について、有識者の意見等を取り入れて、毎年見直しを実施 ◎ 県からの受託用地事業（旧あっせん事業）の拡大については、平成26年度において県と協議を行い、県予算の許す範囲で対応することとなり、継続して事業を受託。市町事業の受託拡大を図るため、県内全市町に対して受託活動を継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 国、県の用地先行取得業務を確実に受託するとともに、受託先の拡大を図るため、市町への調査や働き掛けを継続して実施 ◎ 県からのあっせん事業の継続受託に努め、県と公社が一体となった効率的な用地取得体制を確立。なお、県からのあっせん事業の拡大について、平成26年度に検討 ※平成26年度の検討結果については、「これまでの成果」に記載
静岡県 道路公社	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 毎年度、事業規模に見合った組織編成を行い、効率化を図った。（職員数は22年度の41人から28年度の35人へと6人削減（約15%減）） ◎ 関東圏等での誘客キャンペーン実施、旅行誌への広告掲載、伊豆スカイライン周辺の国道交差点における電光表示板による案内情報の提供、観光・宿泊施設等へのロードマップの配布などにより誘客を図った。また、お客様アンケートに基づき、トイレの改修工事を実施した。 ◎ 毎年度点検評価を実施し、大綱に基づく見直し等について検証を受けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 採算性を確保し、着実な償還を実施 ◎ 地域の交通の課題を解決するための伊豆中央道改築事業の実施や、標識等の多言語化、施設のバリアフリー化など、伊豆スカイライン及び箱根スカイラインを再整備 ◎ 企画割引の実施や、他の事業者とのイベント協力などにより地域振興に貢献
静岡県 住宅供給 公社	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 重点課題ごとにプロジェクトチームを設置し、経営改善対策を検討・借上賃貸住宅の入居促進、割賦債権不良化防止 ◎ 事業規模に見合った定員管理に努め、退職者の不補充等で正規職員数を21年度から28年度までに7人削減 ◎ 住宅管理業務を主要事業として位置づけ、入居者のための生活支援事業の推進、住宅管理サービスの充実、市町の公営住宅の管理受託等を検討 ◎ 点検評価表を県ホームページで公開 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 公営住宅の管理を継続する一方、住宅や宅地の新規供給事業等については、役割を終えた清算事業として縮小、整理 ◎ 増加が著しい高齢・外国人入居者に対する支援を積極的に推進 ◎ 外部委託を希望する市町の公営住宅管理を新たに受託し、住宅情報の一元管理により県民サービスを向上

地方公社の決算状況

（単位：百万円）

区 分		静岡県土地開発公社		静岡県道路公社		静岡県住宅供給公社		
		平成27年度	平成28年度	平成27年度	平成28年度	平成27年度	平成28年度	
出資状況	出資団体数	1	1	15	15	4	4	
	出資金額	本県出資額	20	20	7,523	7,523	10	10
		その他団体出資額	-	-	22	22	5	5
		計	20	20	7,545	7,545	15	15
貸借対照表	資産	流動資産	3,428	2,521	3,008	3,314	2,069	1,924
		固定資産	1,945	2,280	32,995	33,507	3,135	2,193
		繰延資産	-	-	23	17	-	-
		小計	5,373	4,801	36,026	36,838	5,204	4,117
	負債	流動負債	327	650	209	224	1,137	1,009
		固定負債	2,516	1,675	1,697	1,386	3,019	1,899
		特別法上の引当金等	-	-	19,936	21,098	-	-
		小計	2,843	2,325	21,842	22,708	4,156	2,908
	資本	資本金	20	20	7,545	7,545	15	15
		剰余金	-	-	6,639	6,585	1,033	1,194
法定準備金等		2,510	2,456	-	-	-	-	
小計		2,530	2,476	14,184	14,130	1,048	1,209	
計		5,373	4,801	36,026	36,838	5,204	4,117	
損益計算書	経常損益	営業収益 (a)	2,896	3,239	2,242	2,274	2,620	2,569
		営業費用 (b)	2,970	3,258	2,322	2,428	2,570	2,505
		営業利益 (c=a-b)	△ 74	△ 19	△ 80	△ 154	50	64
		営業外収益 (d)	43	35	82	116	6	33
		営業外費用 (e)	-	-	20	16	13	7
		経常利益 (f=c+d-e)	△ 31	16	△ 18	△ 54	43	90
	特別利益 (g)	-	-	-	-	77	71	
	特別損失 (h)	-	-	-	-	5	1	
当期損益 (i=f+g-h)		△ 31	16	△ 18	△ 54	115	160	

静岡県の外郭団体の経営状況

平成29年3月末現在
(単位: %, 百万円)

○全団体の状況

形態	所管	出資割合50%以上				出資割合50%未満			
		出資法人	出資金額 (出資割合)	平成28年度 経常収支	資本又は 正味財産	出資法人	出資金額 (出資割合)	平成28年度 経常収支	資本又は 正味財産
財団・ 社団 法人	知事部局	(公財) 静岡県産業振興財団	4,977 (100.0)	▲ 94.2	8,162	(公社) 静岡県農業振興基金協会	2,000 (49.9)	7.0	2,097
		(一財) 静岡県労働福祉事業協会	2,194 (100.0)	▲ 69.0	1,865	(公財) 静岡県漁業振興基金	1,575 (48.0)	4.2	3,673
		(公財) 静岡県舞台芸術センター	1,320 (100.0)	▲ 37.2	1,530	(公社) 静岡県畜産協会	195 (37.1)	1.2	223
		(公財) 浜松地域イノベーション推進機構	183 (18.9)	31.4	1,549	(公財) 静岡県腎臓バンク	150 (49.0)	▲ 2.4	325
		(公財) 静岡県文化財団	900 (89.8)	44.8	1,347	(公財) 静岡県コンテナ輸送振興協会	35 (33.3)	0.1	109
		(公財) 静岡県国際交流協会	797 (86.8)	▲ 0.4	968	(公財) 静岡県生活衛生営業指導センター	3 (45.5)	▲ 1.4	139
		(公財) 世界緑茶協会	393 (100.0)	▲ 1.1	395	(公財) 浜名湖総合環境財団	50 (24.3)	▲ 36.1	625
		(公財) しずおか健康長寿財団	245 (77.0)	▲ 0.5	359				
		(公財) 静岡県障害者スポーツ協会	76 (75.4)	▲ 3.9	97				
		(公社) 静岡県緑化推進協会	50 (67.0)	▲ 0.3	94				
		(公社) 静岡県農業振興公社	50 (50.0)	▲ 2.0	57				
	公安委員会	(公財) 静岡県暴力追放運動推進センター	660 (81.0)	0.8	918				
	教育委員会					(一財) 静岡県青少年会館	100 (40.0)	0.9	273
地方公社	静岡県道路公社	7,523 (99.7)	▲ 53.8	14,130					
	静岡県土地開発公社	20 (100.0)	16.1	2,476					
	静岡県住宅供給公社	10 (66.7)	89.8	1,208					
会社法人					天竜浜名湖鉄道(株)	39.7 (39.7)	▲ 157.0	181	
					(株)エイ・ピー・アイ	20 (39.0)	6.6	209	

※「外郭団体」とは、「県の出資割合が25%以上の法人」又は「県が出資し、職員を派遣をしている法人」

〈参考〉

形態	地方独立行政法人	出資金額 (出資割合)	平成28年度 経常収支	資本又は 正味財産
地方独立 行政法人	静岡県公立大学法人	22,361(100.0)	162.0	20,534
	公立大学法人静岡文化芸術大学	16,810(100.0)	32.8	14,062
	静岡県立病院機構	6,823 (100.0)	1,088.7	14,035

静岡県の外郭団体の経営状況

○平成28年度経常収支赤字法人

(単位: 千円)

形態	出資法人	事業の概要	H28経常収支	公益目的事業収支 (公益法人のみ)	経常収支が赤字の理由	今後の収支改善の見通し		
公益法人	(公財) 静岡県産業振興財団	・中小企業等の産業創出支援、経営基盤の強化 ・科学技術研究開発の促進 ・新産業集積クラスターの推進	▲ 94,215	▲ 90,200	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> 公益法人認定基準を踏まえ、 公益目的事業費 ≥ 公益目的事業収入 とするため、計画的に赤字を計上 </div> <p>※公益認定基準【公益法人認定法 第5条第6項】 その行う公益目的事業について、当該公益目的事業に係る収入がその実施に要する適正な費用を償う額を超えないと見込まれるものであること</p>			
	(公財) 静岡県舞台芸術センター	静岡県の芸術文化振興のための演劇、舞踊等の舞台芸術に関する創造活動等	▲ 28,884	▲ 29,923				
	(公財) 静岡県障害者スポーツ協会	障害者スポーツの振興	▲ 3,871	▲ 4,184				
	(公社) 静岡県緑化推進協会	緑の券金の管理及び緑の券金による森林整備等への支援	▲ 252	▲ 225				
	(公財) 静岡県腎臓バンク	・腎臓移植の普及促進事業 ・腎臓移植と腎臓病に関する知識の普及啓発事業	▲ 2,384	▲ 2,340				
	(公財) 静岡県生活衛生営業指導センター	生活衛生関係営業業者に対する指導	▲ 1,372	▲ 424				
	(公財) 静岡県国際交流協会	国際理解・交流及び多文化共生の推進	▲ 409	▲ 490				
	(公財) 浜名湖総合環境財団	浜名湖における船舶等の航行安全の確保、公共係留施設の管理運営	▲ 36,069	▲ 16,479 H27繰越分 36,599				
	(公社) 静岡県農業振興公社	・農地中間管理事業 ・青年農業者等育成事業	▲ 2,011	▲ 2,217			自主財源の確保に取り組んでいるが、28年度は十分な収入を確保するには至らなかった	手数料収入の増加が期待できるため、経費の節減に努め、収支均衡を目指す
	(公財) 世界緑茶協会	・茶文化の提案及び普及 ・世界の茶に関する情報の集積・発信	▲ 1,059	▲ 332			単年度事業であるホームページのリニューアルと世界の茶に関する情報の集積と発信事業のための米国見本市へのブース出展費用が重なったため	事業の効率化、主催講座の受益者負担等を検討し、安定的な経営を目指す
(一財) 静岡県労働福祉事業協会	勤労者福祉施設の管理運営	▲ 69,072		有価証券評価損の発生と、「おとり荘」における宿泊者が伸びなかったため	営業活動の強化、積極的な情報の発信、おもてなしサービスの向上、地域との連携・貢献により利用客増加に向けた取組による宿泊者数の増加対策を実施			
公社	静岡県道路公社	有料道路事業、一般自動車道事業及び高架下施設の管理・運営等	▲ 53,775		東京五輪自転車競技の伊豆開催に向け、平成27～31年度において、先行、集中的に施設改修を行う「新グランドデザイン」の実施に伴い支出が増加したため	道路収入については、H28年度実績もほぼ前年並み水準を維持しており、集中投資が完了するH32年度以降は、単年度黒字を見込む		
会社法人	天竜浜名湖鉄道(株)	地方鉄道線(天竜浜名湖線)の経営	▲ 156,993		老朽化した施設設備の更新による費用が増加したため	県と沿線市町が基金を造成し、会社が策定した「天竜浜名湖鉄道中期経営計画(H26～30年度)」に基づき計画的に支援しており、支援を含めた収支は均衡		

財政の中期試算

1 財政の中期試算

平成28年度当初予算策定時

(1) 試算の前提

- ① 経済成長率は、内閣府試算(平成28年1月「中長期の経済財政に関する試算」)に用いられた経済再生ケースとベースラインケースを前提とする。

(名目経済成長率)

(単位:%)

区 分	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
経済再生ケース	2.4	3.9	3.5	3.6
ベースラインケース	1.3	1.9	1.3	1.3

- ② 地方財政は、三位一体の改革以降、一般財源総額(地方税、地方交付税、臨時財政対策債等の合計額)が概ね同規模に固定されていることを踏まえ、**一般財源総額が据え置かれるパターンを「パターン1」とし、また、本来の地方財政制度の機能が発揮されるパターン(義務的経費等の財政需要の増加が地方交付税に反映される場合)を「パターン2」として試算**

(2) 試算結果

- 経常収支比率は、それぞれのケースの**パターン2(地方財政制度機能発揮)**では、徐々に改善していくが、**パターン1(一般財源総額据置)**では、義務的経費の増加等の影響により高止まりする。
- 将来負担比率、実質公債費比率については、いずれの試算も財政健全化法における**健全基準を維持する**。
- 県債残高(通常債)は、いずれの試算も**着実に減少する**。
- 財源不足額は、**パターン2(地方財政制度機能発揮)**では、中期的に解消していくが、**パターン1(一般財源総額据置)**では、概ね横ばいとなる。

- 21 -

財政の中期試算

平成28年度当初予算策定時

<試算結果①:経済再生ケース>

(単位:億円)

区分	項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
据一 置般 財 源 総 額 パ タ ー ン	経常収支比率	95.6%	94.1%	93.3%	93.5%	93.6%
	実質公債費比率	13.4%	13.2%	13.3%	13.4%	13.8%
	県債残高(通常債) <small>注1</small>	16,099	15,672	15,214	14,765	14,331
	県債残高(全体) <small>注2</small>	27,217	27,050	26,599	26,020	25,265
	将来負担比率	219.1%	234.9%	233.1%	226.1%	217.4%
	財源不足額	△ 389	△ 433	△ 411	△ 398	△ 370
機 能 地 方 財 政 制 度 パ タ ー ン	経常収支比率	95.6%	93.5%	92.1%	91.8%	91.1%
	実質公債費比率	13.4%	13.2%	13.2%	13.3%	13.5%
	県債残高(通常債) <small>注1</small>	16,099	15,672	15,214	14,765	14,331
	県債残高(全体) <small>注2</small>	27,217	27,050	26,599	26,020	25,265
	将来負担比率	219.1%	233.3%	229.4%	221.1%	210.2%
	財源不足額	△ 389	△ 393	△ 319	△ 267	△ 166

(注) 1 臨時財政対策債は「実質的な地方交付税」とされているため、通常債から除外
病院債は、県立病院の独立行政法人化に伴う県債であり、償還財源の全てが病院事業により措置されるため、通常債から除外

2 県債残高(全体)は、通常債、臨時財政対策債、病院債の合計

- 22 -

財政の中期試算

平成28年度当初予算策定時

＜試算結果②：ベースラインケース＞

(単位：億円)

区分	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
据一般財源パターン	経常収支比率	95.6%	94.2%	93.5%	94.2%	94.7%
	実質公債費比率	13.4%	13.2%	13.3%	13.3%	13.6%
	県債残高(通常債) <small>注1</small>	16,099	15,672	15,214	14,765	14,331
	県債残高(全体) <small>注2</small>	27,217	27,105	26,802	26,458	26,027
	将来負担比率	219.1%	235.0%	233.8%	228.3%	221.6%
	財源不足額	△ 389	△ 435	△ 414	△ 419	△ 397
機能発揮パターン	経常収支比率	95.6%	93.8%	92.8%	93.1%	93.0%
	実質公債費比率	13.4%	13.2%	13.2%	13.2%	13.4%
	県債残高(通常債) <small>注1</small>	16,099	15,672	15,214	14,765	14,331
	県債残高(全体) <small>注2</small>	27,217	27,105	26,802	26,458	26,027
	将来負担比率	219.1%	233.9%	231.5%	224.9%	216.6%
	財源不足額	△ 389	△ 406	△ 355	△ 331	△ 260

- (注) 1 臨時財政対策債は「実質的な地方交付税」とされているため、通常債から除外
 病院債は、県立病院の独立行政法人化に伴う県債であり、償還財源の全てが病院事業により措置されるため、通常債から除外
 2 県債残高(全体)は、通常債、臨時財政対策債、病院債の合計

財政の中期試算

平成28年度当初予算策定時

「財政の中期試算」の前提条件の推計方法

○ 経済成長率：内閣府試算(平成28年1月「中長期の経済財政に関する試算」)で用いられた名目経済成長率を使用

経済再生ケース H29: 2.4%、H30: 3.9%、H31: 3.5%、H32: 3.6%

⇒

ベースラインケース H29: 1.3%、H30: 1.9%、H31: 1.3%、H32: 1.3%

○ 推計方法

区分	考え方	
歳出	人件費	増減員分、退職手当分は推計額 政令市内小中学校の教職員給与負担は政令市に移譲(29年度)
	扶助費	通常分 → 年平均伸び率3.4%(H25~26決算平均伸び率) 後期高齢者医療分・介護保険分・障害者自立支援分→推計額
	公債費	既発行分 → 積上げ 今後発行分 → 利率は、国の試算等(1.0%~3.9%)
	災害復旧費	28年度当初と同額
	税関関連法定経費	原則として税収に連動
	公共・直轄	公共・直轄分 → 前年×1.0+積上げ
	単独	単独(通常分) → 前年×1.0 単独(主要事業) → 積上げ
	その他の経費	原則として28年度当初と同額 社会保障関係費(扶助費以外) → 地方消費税引上げを踏まえた推計額 選挙経費 → 実施年度の推計額
	(再掲) 総合計画の反映	後期アクションプランに示した今後2年間(H28~29)の主な取組を試算に反映
	歳入	県税
地方消費税清算金		地方消費税に連動
地方譲与税		名目経済成長率×弾性値(1.1)
地方特例交付金		28年度当初と同額
地方交付税 +臨時財政対策債		パターン1: 28年度当初同額±税収増減取分+税収増減等の25%相当分を反映 ※一般財源総額は、28年度当初同額±特殊要因分(教職員給与負担政令市移譲分、個人県民税収入率向上分等) パターン2: パターン1+義務的経費の増分を反映
国庫支出金		原則として歳出に連動
県債		原則として歳出に連動
その他の歳入		原則として、28年度当初と同額 分担金・負担金 → 投資的経費に連動 県有財産売却収入 → 計画額

財政の中期試算

財政の中期試算 経済再生ケース：パターン1（一般財源総額据置）

平成28年度当初予算策定時

試算方法：名目経済成長率 29年度 2.4% 30年度 3.9% 31年度 3.5% 32年度 3.6%

△印減額(単位:億円)

区分	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		
	当初		前年度増減額									
歳	義務的経費	6,568	6,594	26	5,968	△ 626	5,995	27	6,011	16	6,063	52
	人件費	3,631	3,614	△ 17	2,930	△ 684	2,907	△ 23	2,877	△ 30	2,848	△ 29
	扶助費	1,005	1,040	35	1,073	33	1,108	35	1,144	36	1,180	36
	公債費	1,838	1,855	17	1,880	25	1,895	15	1,905	10	1,950	45
	災害復旧費	94	85	△ 9	85	0	85	0	85	0	85	0
税金関係法定経費	1,842	1,839	△ 3	2,032	193	2,552	520	2,610	58	2,711	101	
義務的経費・税金関係経費以外	3,987	3,977	△ 10	4,113	136	4,022	△ 91	4,014	△ 8	3,954	△ 60	
出	投資的経費	1,736	1,691	△ 45	1,893	202	1,771	△ 122	1,745	△ 26	1,686	△ 59
	公共・直轄	966	900	△ 66	842	△ 58	863	21	880	17	881	1
	単独	770	791	21	1,051	260	908	△ 143	865	△ 43	805	△ 60
	その他の経費	2,251	2,286	35	2,220	△ 66	2,251	31	2,269	18	2,268	△ 1
	合計 A	12,397	12,410	13	12,113	△ 297	12,569	456	12,635	66	12,728	93
(再掲) ※総合計画の「主な取組」	1,940	1,985	45	1,797	△ 188	—	—	—	—	—	—	
入	県税	4,820	4,960	140	4,905	△ 55	5,692	787	5,900	208	6,139	239
	うち法人事業税	1,102	1,182	80	1,289	107	1,742	453	1,815	73	1,891	76
	地方消費税清算金	1,382	1,369	△ 13	1,521	152	1,911	390	1,949	38	2,026	77
	地方譲与税	633	590	△ 43	435	△ 155	78	△ 357	30	△ 48	31	1
	地方交付税	2,345	2,325	△ 20	2,134	△ 191	1,922	△ 212	1,821	△ 101	1,663	△ 158
	うち臨時財政対策債	1,030	800	△ 230	609	△ 191	397	△ 212	296	△ 101	138	△ 158
	地方特例交付金	15	17	2	17	0	17	0	17	0	17	0
	国庫支出金	1,324	1,361	37	1,242	△ 119	1,240	△ 2	1,242	2	1,239	△ 3
	県債	632	649	17	737	88	667	△ 70	655	△ 12	636	△ 19
	その他の歳入	847	750	△ 97	689	△ 61	631	△ 58	623	△ 8	607	△ 16
合計 B	11,998	12,021	23	11,680	△ 341	12,158	478	12,237	79	12,358	121	
財源不足額 C=B-A	△ 399	△ 389	10	△ 433	△ 44	△ 411	22	△ 398	13	△ 370	28	

※ 総合計画基本計画に示した具体的取組のうち「主な取組」（再掲）

財政の中期試算

財政の中期試算 経済再生ケース：パターン2（地方財政制度機能発揮）

平成28年度当初予算策定時

試算方法：名目経済成長率 29年度 2.4% 30年度 3.9% 31年度 3.5% 32年度 3.6%

△印減額(単位:億円)

区分	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		
	当初		前年度増減額									
歳	義務的経費	6,568	6,594	26	5,968	△ 626	5,995	27	6,011	16	6,063	52
	人件費	3,631	3,614	△ 17	2,930	△ 684	2,907	△ 23	2,877	△ 30	2,848	△ 29
	扶助費	1,005	1,040	35	1,073	33	1,108	35	1,144	36	1,180	36
	公債費	1,838	1,855	17	1,880	25	1,895	15	1,905	10	1,950	45
	災害復旧費	94	85	△ 9	85	0	85	0	85	0	85	0
税金関係法定経費	1,842	1,839	△ 3	2,032	193	2,552	520	2,610	58	2,711	101	
義務的経費・税金関係経費以外	3,987	3,977	△ 10	4,113	136	4,022	△ 91	4,014	△ 8	3,954	△ 60	
出	投資的経費	1,736	1,691	△ 45	1,893	202	1,771	△ 122	1,745	△ 26	1,686	△ 59
	公共・直轄	966	900	△ 66	842	△ 58	863	21	880	17	881	1
	単独	770	791	21	1,051	260	908	△ 143	865	△ 43	805	△ 60
	その他の経費	2,251	2,286	35	2,220	△ 66	2,251	31	2,269	18	2,268	△ 1
	合計 A	12,397	12,410	13	12,113	△ 297	12,569	456	12,635	66	12,728	93
(再掲) ※総合計画の「主な取組」	1,940	1,985	45	1,797	△ 188	—	—	—	—	—	—	
入	県税	4,820	4,960	140	4,905	△ 55	5,692	787	5,900	208	6,139	239
	うち法人事業税	1,102	1,182	80	1,289	107	1,742	453	1,815	73	1,891	76
	地方消費税清算金	1,382	1,369	△ 13	1,521	152	1,911	390	1,949	38	2,026	77
	地方譲与税	633	590	△ 43	435	△ 155	78	△ 357	30	△ 48	31	1
	地方交付税	2,345	2,325	△ 20	2,174	△ 151	2,014	△ 160	1,952	△ 62	1,867	△ 85
	うち臨時財政対策債	1,030	800	△ 230	609	△ 191	397	△ 212	296	△ 101	138	△ 158
	地方特例交付金	15	17	2	17	0	17	0	17	0	17	0
	国庫支出金	1,324	1,361	37	1,242	△ 119	1,240	△ 2	1,242	2	1,239	△ 3
	県債	632	649	17	737	88	667	△ 70	655	△ 12	636	△ 19
	その他の歳入	847	750	△ 97	689	△ 61	631	△ 58	623	△ 8	607	△ 16
合計 B	11,998	12,021	23	11,720	△ 301	12,250	530	12,368	118	12,562	194	
財源不足額 C=B-A	△ 399	△ 389	10	△ 393	△ 4	△ 319	74	△ 267	52	△ 166	101	

※ 総合計画基本計画に示した具体的取組のうち「主な取組」（再掲）

財政の中期試算

財政の中期試算 ベースラインケース：パターン1（一般財源総額据置）

平成28年度当初予算策定時

試算方法：名目経済成長率 29年度 1.3% 30年度 1.9% 31年度 1.3% 32年度 1.3%

△印減額(単位:億円)

区分	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		
	当初		前年度増減額									
歳	義務的経費	6,568	6,594	26	5,969	△ 625	5,982	13	5,985	3	5,997	12
	人件費	3,631	3,614	△ 17	2,930	△ 684	2,907	△ 23	2,877	△ 30	2,848	△ 29
	扶助費	1,005	1,040	35	1,073	33	1,108	35	1,144	36	1,180	36
	公債費	1,838	1,855	17	1,881	26	1,882	1	1,879	△ 3	1,884	5
	災害復旧費	94	85	△ 9	85	0	85	0	85	0	85	0
	税金関連法定経費	1,842	1,839	△ 3	2,009	170	2,471	462	2,469	△ 2	2,504	35
	義務的経費・税金関連経費以外	3,987	3,977	△ 10	4,112	135	4,017	△ 95	4,005	△ 12	3,939	△ 66
出	投資的経費	1,736	1,691	△ 45	1,893	202	1,771	△ 122	1,745	△ 26	1,686	△ 59
	公共・直轄	966	900	△ 66	842	△ 58	863	21	880	17	881	1
	単独	770	791	21	1,051	260	908	△ 143	865	△ 43	805	△ 60
	その他の経費	2,251	2,286	35	2,219	△ 67	2,246	27	2,260	14	2,253	△ 7
	合計 A	12,397	12,410	13	12,090	△ 320	12,470	380	12,459	△ 11	12,440	△ 19
(再掲) ※総合計画の「主な取組」	1,940	1,985	45	1,797	△ 188	—	—	—	—	—	—	
入	県税	4,820	4,960	140	4,848	△ 112	5,507	659	5,576	69	5,661	85
	うち法人事業税	1,102	1,183	81	1,274	91	1,685	411	1,714	29	1,743	29
	地方消費税清算金	1,382	1,369	△ 13	1,503	134	1,848	345	1,842	△ 6	1,868	26
	地方譲与税	633	590	△ 43	430	△ 160	76	△ 354	28	△ 48	29	1
	地方交付税	2,345	2,325	△ 20	2,189	△ 136	2,070	△ 119	2,057	△ 13	1,986	△ 71
	うち臨時財政対策債	1,030	800	△ 230	664	△ 136	545	△ 119	532	△ 13	461	△ 71
	地方特例交付金	15	17	2	17	0	17	0	17	0	17	0
	国庫支出金	1,324	1,361	37	1,242	△ 119	1,240	△ 2	1,242	2	1,239	△ 3
	県債	632	649	17	737	88	667	△ 70	655	△ 12	636	△ 19
	その他の歳入	847	750	△ 97	689	△ 61	631	△ 58	623	△ 8	607	△ 16
合計 B	11,998	12,021	23	11,655	△ 366	12,056	401	12,040	△ 16	12,043	3	
財源不足額 C=B-A	△ 399	△ 389	10	△ 435	△ 46	△ 414	21	△ 419	△ 5	△ 397	22	

※ 総合計画基本計画に示した具体的取組のうち「主な取組」(再掲)

財政の中期試算

財政の中期試算 ベースラインケース：パターン2（地方財政制度機能発揮）

平成28年度当初予算策定時

試算方法：名目経済成長率 29年度 1.3% 30年度 1.9% 31年度 1.3% 32年度 1.3%

△印減額(単位:億円)

区分	平成27年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		
	当初		前年度増減額									
歳	義務的経費	6,568	6,594	26	5,969	△ 625	5,982	13	5,985	3	5,997	12
	人件費	3,631	3,614	△ 17	2,930	△ 684	2,907	△ 23	2,877	△ 30	2,848	△ 29
	扶助費	1,005	1,040	35	1,073	33	1,108	35	1,144	36	1,180	36
	公債費	1,838	1,855	17	1,881	26	1,882	1	1,879	△ 3	1,884	5
	災害復旧費	94	85	△ 9	85	0	85	0	85	0	85	0
	税金関連法定経費	1,842	1,839	△ 3	2,009	170	2,471	462	2,469	△ 2	2,504	35
	義務的経費・税金関連経費以外	3,987	3,977	△ 10	4,112	135	4,017	△ 95	4,005	△ 12	3,939	△ 66
出	投資的経費	1,736	1,691	△ 45	1,893	202	1,771	△ 122	1,745	△ 26	1,686	△ 59
	公共・直轄	966	900	△ 66	842	△ 58	863	21	880	17	881	1
	単独	770	791	21	1,051	260	908	△ 143	865	△ 43	805	△ 60
	その他の経費	2,251	2,286	35	2,219	△ 67	2,246	27	2,260	14	2,253	△ 7
	合計 A	12,397	12,410	13	12,090	△ 320	12,470	380	12,459	△ 11	12,440	△ 19
(再掲) ※総合計画の「主な取組」	1,940	1,985	45	1,797	△ 188	—	—	—	—	—	—	
入	県税	4,820	4,960	140	4,848	△ 112	5,507	659	5,576	69	5,661	85
	うち法人事業税	1,102	1,183	81	1,274	91	1,685	411	1,714	29	1,743	29
	地方消費税清算金	1,382	1,369	△ 13	1,503	134	1,848	345	1,842	△ 6	1,868	26
	地方譲与税	633	590	△ 43	430	△ 160	76	△ 354	28	△ 48	29	1
	地方交付税	2,345	2,325	△ 20	2,218	△ 107	2,129	△ 89	2,145	16	2,123	△ 22
	うち臨時財政対策債	1,030	800	△ 230	664	△ 136	545	△ 119	532	△ 13	461	△ 71
	地方特例交付金	15	17	2	17	0	17	0	17	0	17	0
	国庫支出金	1,324	1,361	37	1,242	△ 119	1,240	△ 2	1,242	2	1,239	△ 3
	県債	632	649	17	737	88	667	△ 70	655	△ 12	636	△ 19
	その他の歳入	847	750	△ 97	689	△ 61	631	△ 58	623	△ 8	607	△ 16
合計 B	11,998	12,021	23	11,684	△ 337	12,115	431	12,128	13	12,180	52	
財源不足額 C=B-A	△ 399	△ 389	10	△ 406	△ 17	△ 355	51	△ 331	24	△ 260	71	

※ 総合計画基本計画に示した具体的取組のうち「主な取組」(再掲)

財政関係指標の推移(普通会計)

(単位:%)

区分		平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度
財政力 指数	本県	63.7	65.3	69.6	72.9	76.6	75.6	71.5	67.8	66.7	68.4	69.1	71.0	72.0
	全国	41.1	42.8	46.4	49.7	52.1	51.6	49.0	46.5	45.5	46.4	47.3	49.1	-
	順位	5	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	-
経常収 支率	本県	91.9	90.9	90.8	93.6	92.5	93.3	89.7	94.9	94.2	92.9	91.0	94.9	97.6
	全国	92.4	92.8	93.6	96.7	95.3	95.2	90.9	93.9	94.1	93.1	93.0	93.4	-
	順位	21	10	4	5	7	9	17	32	25	22	6	27	-
実質赤 字率	本県	-	-	-	(黒字)									
	全国	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	順位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
連 実質赤 字率	本県	-	-	-	(黒字)									
	全国	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	順位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
実 公債 費率	本県	-	12.9	12.4	11.6	11.7	13.1	14.3	15.3	15.0	14.9	14.5	14.0	13.5
	全国	-	14.5	14.4	14.0	13.9	14.4	14.8	15.1	14.8	14.6	13.1	12.7	-
	順位	-	14	10	9	10	16	20	24	25	27	26	26	-
将来負 担率	本県	-	-	-	247.3	248.1	262.6	251.8	248.2	241.1	239.1	229.8	223.1	228.0
	全国	-	-	-	235.1	234.8	235.6	218.7	214.9	208.4	200.9	187.0	175.6	-
	順位	-	-	-	30	28	32	36	35	35	37	36	36	-

※順位は、財政の健全性の高い都道府県から1位とした。

※指数及び比率の全国の数値は、総務省算定値

財政関係指標の推移(普通会計)

【財政力指数】

地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額(注1)を基準財政需要額(注2)で除して得た数値の過去3年間の平均値

(注1) 地方交付税の算定基礎となるもので、各地方公共団体が標準的な状態において徴収が見込まれる税収入を一定の方法により算定した額

(注2) 地方交付税の算定基礎となるもので、各地方公共団体が合理的かつ妥当な水準における行政を行い、又は施設を維持するための財政需要を一定の方法により合理的に算定した額

【経常収支比率】

地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、経常的経費に充当された一般財源の経常一般財源総額に対する割合

【実質赤字比率】

地方公共団体の財政運営の悪化度合いを示す指標で、当該地方公共団体の一般会計等(注3)を対象とした実質赤字額(注4)の標準財政規模に対する割合

(注3) 一般会計及び特別会計のうち普通会計に相当する会計

(注4) 実質赤字の額 = 繰上充額 + (支払繰延額 + 事業繰越額)

【連結実質赤字比率】

地方公共団体全体としての財政運営の悪化度合いを示す指標で、すべての会計を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する割合

【実質公債費比率】

地方公共団体における公債費による財政負担の度合いを客観的に示す指標で、地方債元利償還金相当額(注5)に充当された一般財源の標準財政規模等に対する割合

(普通交付税の算定において災害復旧費等として算入されるもの及び元利償還金が事業費補正により算入されるものを除く)の過去3年間の平均値

(注5) 地方債元利償還金に公営企業の元利償還金への一般会計からの繰出金等を加えた額

【将来負担比率】

地方公共団体の一般会計等が将来負担すべき実質的な負債を表す指標で、地方債残高や、将来の公営企業への繰出見込額、退職手当の支給予定額、

第3セクターへの損失補償額等の合算額の標準財政規模等に対する割合

(普通交付税の算定において災害復旧費等として算入されるもの及び元利償還金が事業費補正により算入されるものを除く)

財政関係指標の推移(普通会計)

(単位:%)

区分		平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度
自主財源比率	本県	47.4	50.7	50.6	51.0	53.0	57.3	57.0
	全国	50.4	49.4	50.9	51.1	53.5	55.9	-
	順位	12	10	10	10	10	7	-
地方税比率	本県	37.8	38.0	38.7	39.1	41.7	47.3	47.0
	全国	31.8	30.2	31.6	32.6	34.4	38.7	-
	順位	6	5	6	6	6	5	-
法人税比率	本県	7.8	8.1	8.4	9.0	10.7	11.0	11.9
	全国	6.0	5.8	6.3	6.8	7.7	8.4	-
	順位	4	5	5	5	5	5	-

※平成27年度は本県調査による。

【自主財源比率】

地方財政の自主性がどの程度発揮できるかを示す指標で、県が自主的に確保できる収入の歳入全体に対する割合

[地方税+分担金及び負担金+使用料及び手数料+財産収入+寄附金+繰入金+純繰越金(前年度実質収支)+諸収入]÷歳入合計

【地方税比率】

地方税収入の歳入全体に対する割合

【法人税比率】

地方税のうち法人二税(法人県民税・法人事業税)収入の歳入全体に対する割合

平成27年度 静岡県 の財務諸表

H29.10月更新予定

平成21年度財務諸表から、総務省が平成19年10月に公表した「新地方公会計制度実務研究報告書」における「基準モデル」に従って、貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書の財務4表を作成

	総務省方式改訂モデル (H19・20決算)	基準モデル (H21決算～)
固定資産の 算定方法 (初年度期首残高)	○売却可能資産： 売却可能価格	○現存する固定資産をすべてリストアップし、公正価値により評価
固定資産の 算定方法 (継続作成時)	○売却可能資産以外： 過去の建設事業費の積み上げにより算定 ⇒段階的に固定資産情報を整備	○発生主義的な財務会計データから固定資産情報を作成
固定資産の 範囲	○当初は建設事業費の範囲 ⇒段階的に拡張し、立木、物品、地上権、ソフトウェアなどを含める	○すべての固定資産を網羅
台帳整備	○段階的整備を想定 ⇒売却可能資産、土地を優先	○開始貸借対照表作成時に整備、その後継続的に更新
財務諸表の 検証可能性	○台帳の段階的整備等により、検証可能性を高めることは可能	○開始時未分析残高を除き、財務諸表の数値から元帳、伝票に遡って検証可能

基準モデル移行への対応

- すべての固定資産をリストアップ
・ 地上権、ソフトウェア等を追加
・ 国道や河川等の国有財産を除外
- 所有する全資産について、公正価値評価に基づく価額により計上
- 個々の取引情報を発生主義により複式記帳して財務諸表を作成

★財務諸表の前年度比較により、平成27年度の静岡県の財政運営を検証

「貸借対照表」前年比較

純資産が354億円減少

- <資産> (△194億円)
- 「基金」の増加 (+7億円)
 - 非金融資産の減少 (△123億円)
(内訳) 事業用資産 (△208億円)
インフラ資産 (+85億円)
- <負債> (+160億円)
- 「地方債」の増加 (+201億円)
(内訳) 臨時財政対策債 (+763億円)
その他の地方債 (△562億円)

貸借対照表の状況

- <前年度からの増減>
- 資産は、インフラ資産が公共事業の実施により増加した一方、事業用資産は減価償却による減少が資産の増加を上回ったことから、総額で減少しました。
 - 負債は、地方債のうち臨時財政対策債の残高の増加が、通常債の減少を上回ったことなどから総額で増加しました。
- <貸借対照表から読み取れる課題>
- 資産の減少に対して負債が増加し、資産と負債のバランスが悪化しています。
 - 本来は非金融資産の減少に伴って、その取得に充てられる地方債は減少することから、本県においても通常債は着実に減少しています。しかしながら、必ずしも資産の取得につながらない臨時財政対策債は大幅に増加しバランス悪化の要因となっています。地方交付税で措置されるべき財源を地方債(臨時財政対策債)で賄う国の地方財政運営の方針の矛盾がバランスシートに表れています。
 - このため、県債残高が過大となり過ぎないように、国に対して臨時財政対策債の廃止を求めていく必要があります。

「行政コスト計算書」前年比較

純経常費用が1,007億円増加
(地方消費税関係経費除きでは364億円増加)

- <経常費用> (+1,008億円)
- 「業務関連費用」の増加 (+358億円)
(内訳) 地方消費税清算金 (+347億円)
その他 (+11億円)
 - 「補助金等移転支出」の増加 (+390億円)
(内訳) 地方消費税交付金 (+296億円)
その他社会保障費等 (+94億円)
 - 退職給与引当額の増加 (+231億円)
- <経常収益>
- 「経常収益」は横ばい (+1億円)

行政コスト計算書の状況

- <前年度からの増減>
- 地方消費税の税率引き上げに伴う増収効果が本格化したことから、地方消費税清算金や地方消費税交付金が大幅に増加し、業務関連費用及び補助金等移転支出が増加しました。
 - 子ども・子育て支援給付費負担金など社会保障関係経費が増加したことにより補助金等移転支出が増加しました。
 - 退職給与引当額が増加したことにより人件費が増加しました。
- <行政コスト計算書から読み取れる課題>
- 税収に連動する地方消費税関連経費を除いたベースでは、純経常費用は、退職給与引当額や社会保障関係経費等の義務的経費の増などにより、364億円の増加となっており、今後も社会保障関係経費については引き続き増加すると見込まれます。
 - 一方、純経常費用を賄う県税等の収入については、279億円(P35参照)の増加に止まり、今後も大幅な増収は見込めないことから、経常費用全体の中での業務の見直しや重点化・優先化の徹底を図るなど、コスト削減のための取組を実施します。

平成27年度 静岡県の財務諸表 (普通会計財務諸表)

貸借対照表

◆翌年度の期末・勤労手当の内、当年度発生分を計上

(単位:億円)

	借方			貸方			
	27年度	26年度	27-26増減	27年度	26年度	27-26増減	
【資産の部】				【負債の部】			
1 金融資産	7,599	7,670	△ 71	1 流動負債	1,440	1,565	△ 125
(1) 資金	249	295	△ 46	(1) 賞与引当金	210	206	4
(2) 債権	620	653	△ 33	(2) 預り金	54	72	△ 18
税等未収金	94	108	△ 14	(3) 翌年度償還予定地方債	1,163	1,273	△ 110
未収金	16	16	0	(うち臨時財政対策債)	107	75	32
貸付金	563	577	△ 14	(4) その他の流動負債	13	14	△ 1
貸倒引当金	△ 53	△ 48	△ 5	2 非流動負債	33,486	33,201	285
(3) 投資等	6,730	6,722	8	(1) 地方債	30,255	29,944	311
出資金	1,346	1,345	1	(うち臨時財政対策債)	10,775	10,044	731
基金	5,384	5,377	7	(2) 退職給付引当金	3,137	3,154	△ 17
2 非金融資産	33,592	33,715	△ 123	(3) 損失補償等引当金	17	15	2
(1) 事業用資産	10,384	10,592	△ 208	(4) その他の非流動負債	77	88	△ 11
有形固定資産	10,375	10,574	△ 199	負債合計	34,926	34,766	160
(うち売却可能資産)	92	97	△ 5	【純資産の部】			
無形固定資産	9	18	△ 9	財源	△ 4,940	△ 4,601	△ 339
(2) インフラ資産	23,208	23,123	85	資産形成充当財源	7,119	6,315	804
公共用財産用地	8,360	8,316	44	その他の純資産	4,086	4,905	△ 819
公共用財産施設等	14,848	14,807	41	純資産合計	6,265	6,619	△ 354
資産合計	41,191	41,385	△ 194	負債・純資産合計	41,191	41,385	△ 194

◆県税や使用料などの未収金を計上

◆債権の内、回収が困難と見込まれる金額を過去の実績等から算定して控除

◆庁舎・県立高等学校・県営住宅など、将来的に資金流入が見込まれる資産を計上

◆県道・橋りょう、空港など、将来的に行政サービスを提供し、資金流入が見込まれない資産を計上

◆地方債残高は、翌年度償還予定分を流動負債に、それ以外を非流動負債に計上

◆全職員が年度末に退職すると仮定した場合に必要な金額を計上

★貸借対照表では、主に県が保有している「資産」と、将来世代が負担する「負債」の状況が確認できる。

◆経常的に必要な費用を、人にかかるコスト、物にかかるコスト、県債の支払利息などに分類して計上

行政コスト計算書

(単位:億円)

区分	27年度	構成比	26年度	27-26増減	区分	27年度	費用比	26年度	27-26増減
1 経常業務費用	5,897	60.0%	5,291	606	業務収益(使用料等)	285	2.9%	262	23
①人件費	3,645	37.1%	3,428	217	業務関連収益(受取利息等)	169	1.7%	191	△ 22
職員給料	2,465	25.1%	2,483	△ 18	経常収益 B	454	4.6%	453	1
退職給付費用等	1,180	12.0%	945	235					
②物件費	564	5.7%	546	18					
消耗品費・維持補修費等	276	2.8%	290	△ 14					
減価償却費	288	2.9%	256	32					
③経費	322	3.3%	309	13					
委託費	191	1.9%	172	19					
貸倒引当金繰入等	131	1.4%	137	△ 6					
④業務関連費用	1,366	13.9%	1,008	358					
公債費(利払分)	399	4.1%	414	△ 15					
地方消費税清算金(※)	865	8.8%	518	347					
その他	102	1.0%	76	26					
2 移転支出	3,928	40.0%	3,526	402					
①他会計等への支出等	29	0.3%	26	3					
②補助金等移転支出	3,747	38.1%	3,357	390					
地方消費税交付金(※)	761	7.7%	465	296					
社会保障関係経費等	2,986	30.4%	2,892	94					
③その他移転支出	152	1.6%	143	9					
経常費用 A	9,825	100.0%	8,817	1,008	純経常費用 A-B	9,371		8,364	1,007
地方消費税関連経費除き(※)	8,199	83.5%	7,834	365	地方消費税関連経費除き	7,745		7,381	364
					(参考) 税金	7,035		6,113	922

★行政コスト計算書では、主に県が行政サービスを行うために必要な「経常費用」と、サービスの対価として受益者が負担する使用料などによる「経常収益」、その差額である「純経常費用」が確認できる。

左に対応する税金増

◆補助金や社会保障関係経費など、対価性のない支出を計上

◆経常費用から経常収益を差し引いた額が、税金などの財源で賄われる金額になる

資金収支計算書

(単位:億円)

区分	金額
I 経常的収支	1,187
1 経常的支出	9,144
2 経常的収入	10,331
II 資本的収支	△ 1,016
1 資本的支出	2,394
2 資本的収入	1,378
III 財務的収支	△ 217
1 財務的支出	3,558
2 財務的収入	3,341
当期資金収支額	△ 46
期首資金残高	295
期末資金残高	249

◆人件費・物件費・補助金支出などの支出と、県税・地方交付税などの収入による収支を計上

◆基金や貸付金の出入りなどの収支を計上

◆地方債の発行や償還などによる収支を計上

★資金収支計算書では、1年間の現金の動きと年度末の残高(期末資金残高)を確認できる。

純資産変動計算書

(単位:億円)

区分	金額
前期末残高	6,619
I 財源変動の部	△ 339
1 財源の使途	△ 12,446
2 財源の調達	12,107
II 資産形成充当財源変動の部	804
1 固定資産の変動	743
2 長期金融資産の変動	57
3 評価・換算差額等の変動	4
III その他の純資産の変動の部	△ 819
1 開始時未分析残高	△ 816
2 その他純資産の変動	△ 3
当期変動額合計	△ 354
当期末残高	6,265

◆純経常費用や資産形成に係る支出(財源の使途)と、税収、国庫補助金などの収入(財源の調達)を計上

◆資産の増減や評価損益を計上

★純資産変動計算書では、1年間の純資産の動きと年度末の残高(当期末残高)を確認できる。
純資産は、資産形成のためにこれまでの世代が負担してきたものであり、それがどれだけ増減したか分かる。

静岡県の連結財務諸表は、公営企業会計・公社・県が25%以上出資している法人等を連結対象として作成

【貸借対照表】

(単位:億円)

資産の部		金額	負債の部		金額
1 金融資産		7,497	1 流動負債		1,765
(1)資金		736	(1)未払金及び未払費用		118
(2)債権		591	(2)前受金及び前受収益		3
税等未収金		94	(3)賞与引当金		232
未収金		207	(4)翌年度償還予定地方債		1,282
貸付金・その他		347	(5)その他		130
貸倒引当金		△ 57			
(3)有価証券		291	2 非流動負債		36,096
(4)投資等		5,879	(1)地方債		31,673
出資金		184	(2)借入金		9
基金・積立金		5,384	(3)退職給付引当金		3,306
その他		311	(4)その他の引当金		123
2 非金融資産		40,201	(5)その他		985
(1)事業用資産		12,857			
有形固定資産		12,750	負債合計		37,861
無形固定資産・棚卸資産		107			
(2)インフラ資産等		27,344	純資産の部		金額
公共用財産用地		8,836			
公共用財産施設		17,810	純資産合計		9,837
その他		698			
資産合計		47,698	負債及び純資産合計		47,698

【行政コスト計算書】

(単位:億円)

		金額
1 経常業務費用		6,927
①人件費		4,042
職員給料		2,745
賞与引当金繰入		214
退職給付費用		291
その他		792
②物件費		1,049
消耗品費		154
維持補修費		205
減価償却費		387
その他		303
③経費		420
業務費		43
委託費		288
貸倒引当金繰入		5
その他		84
④業務関連費用		1,416
公債費(利払分)		426
借入金支払利息・その他		990
2 移転支出		3,761
経常費用 A		10,688
業務収益		1,106
業務関連収益		217
経常収益 B		1,323
純経常費用 A-B		9,365

【純資産変動計算書】

(単位:億円)

区分	金額
前期末残高	10,186
I 財源変動の部	1,868
II 資産形成充当財源の部	310
III その他の純資産の変動の部	△ 2,527
当期末残高	9,837

【資金収支計算書】

(単位:億円)

区分	金額
1 経常収支	1,474
2 資本的収支	△ 1,244
3 財務的収支	△ 367
当期資金収支	△ 137
期首資金残高	873
期末資金残高	736

※ここに掲載している財務諸表は要約版であり、それぞれの勘定科目の中で重要な科目について表したものである。

県債残高の推移(一般会計、特別会計及び企業会計)

(単位:億円)

区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
一般会計(A)	21,184	21,283	21,419	21,505	21,732	22,346	23,782	24,685	25,317	26,048	26,650	27,091	27,099	27,082	27,230
通常債	19,858	19,508	19,296	19,045	18,994	19,272	19,610	19,100	18,643	18,248	17,741	17,182	16,598	16,100	15,753
通常債以外	1,326	1,775	2,123	2,460	2,738	3,074	4,172	5,585	6,674	7,800	8,909	9,909	10,501	10,982	11,477
特別会計(B)	1,208	1,446	1,373	1,282	1,259	1,224	1,153	1,124	1,074	1,059	970	946	903	776	718
県営住宅事業	-	299	281	262	247	242	220	213	199	195	193	192	203	198	211
母子父子寡婦福祉資金	19	19	20	21	21	22	23	25	28	29	30	32	33	34	35
就農支援資金	2	4	4	6	5	6	8	9	10	10	12	12	10	-	-
中小企業高度化資金貸付事業等	407	357	307	254	309	287	274	260	236	220	194	178	167	165	94
清水港等港湾整備事業	368	364	361	347	294	289	262	260	251	263	263	258	256	271	278
流域下水道事業	403	395	392	385	376	371	361	357	350	342	278	274	234	108	100
林業改善	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県営林事業	9	8	8	7	7	7	5	-	-	-	-	-	-	-	-
企業会計(C)	1,342	1,278	1,217	1,235	1,202	1,218	851	822	794	763	733	700	696	662	624
県立病院事業	243	247	256	327	347	379	-	-	-	-	-	-	-	-	-
がんセンター事業	519	508	519	487	452	443	469	466	457	445	432	416	428	412	381
工業用水道事業	182	178	172	165	157	149	141	133	125	117	111	106	99	94	95
水道事業	256	256	254	256	246	247	241	223	212	201	190	178	169	156	148
地域振興整備事業	142	89	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(A+B+C)	23,734	24,007	24,009	24,022	24,193	24,788	25,786	26,631	27,185	27,870	28,353	28,737	28,698	28,520	28,572

※県債残高の平成28年度以前は決算ベース、平成29年度は当初予算額
 ※通常債とは、臨時財政対策債、NTT無利子貸付金及び病院債を除いた県債
 ※平成16年度より県営住宅事業特別会計を設置
 ※県立病院事業会計は平成21年4月1日の地方独立行政法人化に伴い廃止。残高は一般会計に計上
 ※就農支援資金(平成22年度までは農業改良資金)は平成28年3月31日で廃止。残高は一般会計に計上

県民一人あたり県債残高(普通会計)

(単位:千円)

区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
本県	572.5	581.7	583.2	583.7	590.7	606.5	635.1	660.9	679.7	702.0	705.1	720.0	723.5
全国平均	610.2	624.0	622.2	622.4	626.4	631.3	651.6	675.1	683.0	696.6	698.6	698.6	695.1
順位	15	15	15	15	15	16	16	16	15	14	12	15	13

※順位は47都道府県のうち残高が少ない方から1位とした。

財政課所管基金の年度末残高の推移

(単位:億円)

区 分	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度
財政調整基金	128	125	116	106	32	88	88	89	89	89	89	89	89	89	69
県債管理基金	1,846	1,962	2,124	2,321	2,551	2,630	2,423	2,897	3,319	3,670	3,863	4,420	4,587	4,766	4,727
うち一般会計分	545	491	454	462	421	454	331	520	558	553	481	742	725	549	57
庁舎建設基金	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	59	59	56	56
土地開発基金	126	87	78	70	61	57	57	57	57	57	57	0	—	—	—
大規模地震災害対策基金	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
合 計	2,122	2,196	2,340	2,519	2,666	2,797	2,590	3,065	3,487	3,838	4,031	4,587	4,754	4,930	4,871
うち一般会計分	821	725	670	660	536	621	498	688	726	721	649	909	892	713	201

※残高の平成28年度以前は決算ベース、平成29年度は当初予算ベース

※大規模地震による災害が発生した場合、災害復旧等に要する経費として、各基金より大規模地震災害対策基金に繰入れることが可能であることを条例において規定

※土地開発基金は、平成27年3月31日をもって廃止し、基金残額のうち現金分56億円を庁舎建設基金に積立て、土地分1億円は管財課に所管替え

減債基金への積立ての状況

積立ルール

3年据え置き後、県債発行額の3.7%(27分の1)を
毎年積み立て

(単位:億円)

区 分	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
満期一括分残高(実償還ベース)	20,198	21,709	23,603	24,205	27,275	28,519	27,251	28,245	28,693	29,242
公募公債	14,374	16,937	18,474	19,883	22,583	24,289	23,800	24,400	24,640	25,140
銀行等引受債	5,824	4,772	5,129	4,322	4,692	4,230	3,451	3,845	4,053	4,102
積立残高	2,155	2,080	2,372	2,754	3,114	3,380	3,673	3,858	4,209	4,636

※ H28年度までは決算額、H29年度は当初予算額

プライマリーバランスの推移

○臨時財政対策債は、地方交付税の振替であるため、一般財源として算定

(単位:億円)

区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
歳入 A	11,435	12,146	11,685	11,498	11,528	11,804	11,967	12,273	12,160
県債	1,837	2,340	2,197	1,952	2,051	1,989	1,859	1,456	1,472
通常分 B	1,437	1,531	679	731	792	705	648	618	722
臨時財政対策債	400	809	1,518	1,221	1,259	1,284	1,211	838	750
財源不足額 C	4	156	30	40	35	101	40	18	205
差引 D(A-B-C)	9,994	10,459	10,976	10,727	10,701	10,998	11,279	11,637	11,233
歳出 E	11,340	12,040	11,541	11,349	11,360	11,574	11,801	12,136	12,019
公債費 F	1,608	1,678	1,697	1,715	1,714	1,776	1,799	1,812	1,848
差引 G(E-F)	9,732	10,362	9,844	9,634	9,646	9,798	10,002	10,324	10,171
プライマリーバランス H(D-G)	262	97	1,132	1,093	1,055	1,200	1,277	1,313	1,062

注1)各年度数値は決算額

注2)財源不足額は、財政課所管基金の取崩額

静岡県公募公債の発行状況

1.発行額の推移

(単位:億円)

区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
個別発行	5年債	200	600	400	400	300	900	500	400	600	300	400	400	600
	10年債	800	1,000	900	800	900	1,500	1,100	700	1,000	1,300	1,200	700	700
	15年債								100	200	200	300	200	100
	20年定時									100	300	100	300	400
	20年債		200	300	200	400	300	200	300	400	200	400	300	200
	30年債				200	200	200	200	200	100	300	300	340	100
	年限未定													300
	合計	1,000	1,800	1,600	1,600	1,800	2,900	2,000	1,700	2,300	2,100	2,700	2,600	2,140
共同発行	600	600	600	600	600	600	800	600	600	600	600	300	300	300
総計	1,600	2,400	2,200	2,200	2,400	3,500	2,800	2,300	2,900	2,700	3,300	2,900	2,440	2,600

※平成29年度は予定額(平成29年9月30日現在)

2.発行条件の推移

(1)5年債

区分	発行額	表面利率	発行価格	応募者利回り	国債利回り格差	基準国債金利	
27年度	4月	100億円	0.142%	100円	0.142%	4.0bp	0.102%
	6月	100億円	0.157%	100円	0.157%	5.0bp	0.107%
	10月	100億円	0.101%	100円	0.101%	5.0bp	0.051%
	3月	100億円	0.060%	100円	0.060%	26bp	▲0.200%
28年度	9月	100億円	0.001%	100円	0.001%	16.5bp	▲0.164%
	10月	100億円	0.001%	100.002円	0.0006%程度	23.16bp程度	▲0.231%
	12月	100億円	0.001%	100.002円	0.0006%程度	8.76bp程度	▲0.087%
29年度	3月	100億円	0.020%	100円	0.020%	14.7bp	▲0.127%
	4月	100億円	0.010%	100円	0.010%	12.2bp	▲0.112%
	5月	100億円	0.010%	100円	0.010%	14.7bp	▲0.137%
	7月	100億円	0.010%	100円	0.010%	7.6bp	▲0.066%
	9月	100億円	0.020%	100円	0.020%	14.7bp	▲0.127%
	10月(予定)	100億円	—	—	—	—	—
	3月(予定)	100億円	—	—	—	—	—

(3)15年債

区分	発行額	表面利率	発行価格	応募者利回り	国債利回り格差	基準国債金利
26年度	200億円	1.062%	100円	1.062%	3.0bp	1.032%
	100億円	0.966%	100円	0.966%	2.5bp	0.941%
27年度	100億円	0.828%	100円	0.828%	2.5bp	0.803%
	100億円	0.739%	100円	0.739%	5.0bp	0.689%
28年度	100億円	0.190%	100円	0.190%	11.8bp	0.072%

(4)20年定時償還債

区分	発行額	表面利率	発行価格	応募者利回り	国債利回り格差	基準国債金利
26年度	100億円	0.778%	100.00円	0.778%	—	—
	200億円	0.654%	100.00円	0.654%	—	—
27年度	100億円	0.585%	100.00円	0.585%	—	—
	100億円	0.150%	100.00円	0.150%	—	—
28年度	200億円	0.186%	100.00円	0.186%	—	—
	200億円	0.378%	100.00円	0.378%	—	—
29年度	200億円	0.340%	100.00円	0.340%	—	—

(2)10年債

区分	発行額	表面利率	発行価格	応募者利回り	国債利回り格差	基準国債金利	
27年度	4月	100億円	0.425%	100円	0.425%	7.0bp	0.355%
	5月	200億円	0.544%	100円	0.544%	10.0bp	0.444%
	7月	200億円	0.578%	100円	0.578%	9.0bp	0.488%
	8月	200億円	0.494%	100円	0.494%	9.0bp	0.404%
	9月	100億円	0.515%	100円	0.515%	12.0bp	0.395%
	10月	200億円	0.481%	100円	0.481%	15.0bp	0.331%
	11月	100億円	0.461%	100円	0.461%	15.0bp	0.311%
28年度	3月	100億円	0.110%	100円	0.110%	14.0bp	▲0.030%
	4月	200億円	0.080%	100円	0.080%	15.0bp	▲0.070%
	5月	200億円	0.080%	100円	0.080%	18.0bp	▲0.100%
	6月	100億円	0.070%	100円	0.070%	17.0bp	▲0.100%
	7月	100億円	0.050%	100円	0.050%	30.9bp	▲0.259%
	11月	100億円	0.050%	100円	0.050%	12.0bp	▲0.070%
	29年度	4月	100億円	0.200%	100円	0.200%	14.0bp
5月		100億円	0.170%	100円	0.170%	14.0bp	0.030%
6月		100億円	0.190%	100円	0.190%	14.0bp	0.050%
7月		100億円	0.215%	100円	0.215%	14.0bp	0.075%
8月		100億円	0.210%	100円	0.210%	14.0bp	0.070%
11月(予定)		100億円	—	—	—	—	—
3月(予定)		100億円	—	—	—	—	—

※発行条件は平成29年9月30日現在

(5)20年債

区分	発行額	表面利率	発行価格	応募者利回り	国債利回り格差	基準国債金利
24年度	200億円	1.736%	100.00円	1.736%	7.0bp	1.666%
	200億円	1.701%	100.00円	1.701%	5.0bp	1.651%
25年度	100億円	1.720%	100.00円	1.720%	5.0bp	1.670%
	100億円	1.604%	100.00円	1.604%	6.5bp	1.539%
26年度	100億円	1.473%	100.00円	1.473%	4.5bp	1.428%
	200億円	1.253%	100.00円	1.253%	3.5bp	1.218%
27年度	200億円	1.129%	100.00円	1.129%	3.0bp	1.099%
	200億円	0.230%	100.00円	0.230%	4.5bp	0.185%
28年度	100億円	0.443%	100.00円	0.443%	4.5bp	0.398%
	200億円	0.626%	100.00円	0.626%	4.5bp	0.581%

(6)30年債

区分	発行額	表面利率	発行価格	応募者利回り	国債利回り格差	基準国債金利
23年度	200億円	2.108%	100.00円	2.108%	15.0bp	1.958%
24年度	100億円	2.092%	100.00円	2.092%	18.0bp	1.912%
25年度	300億円	1.988%	100.00円	1.988%	16.0bp	1.828%
26年度	300億円	1.862%	100.00円	1.862%	15.0bp	1.712%
27年度	300億円	1.539%	100.00円	1.539%	14.0bp	1.399%
28年度	340億円	0.468%	100.00円	0.468%	13.0bp	0.338%
29年度	100億円	0.914%	100.00円	0.914%	11.0bp	0.804%

お問い合わせ : 静岡県 経営管理部 財政課
メールアドレス : zaisei@pref.shizuoka.lg.jp
静岡県IRサイト : <http://www.pref.shizuoka.jp/governor/ir2002/index.html>
TEL : 054-221-2036 FAX : 054-221-2750